

Silk Central 15.0

リリースノート

Micro Focus
575 Anton Blvd., Suite 510
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © Micro Focus 2014. All rights reserved. Silk Central は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2014 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2013-12-18

目次

Silk Central 15.0 リリース ノート	4
Silk Central 15.0 の新機能	5
レポート配信登録	5
レポート配信登録パネル	5
ステータスの理由	5
自動テスト結果を分析する	5
Microsoft Excel からの要件インポートと更新	6
テストに複数の要件を割り当てる	6
クライアントごとのライセンス制約	6
ユーザビリティ機能の強化	6
実行環境の一元管理	7
物理実行サーバーに自動的にキーワードを割り当てる	7
関連する実行計画のすべての手動テストをオフライン実行用にダウンロードする	7
オフライン実行用にダウンロードする手動テストの書式を指定する	7
完了テスト実行ステータスの処理	7
ホットフィックスと更新通知	7
統合の強化	7
Atlassian JIRA Agile 統合の改善	7
Atlassian JIRA 6	8
Web サービスの更新	8
reportData インターフェイス	8
使用技術の更新	8
サポートされなくなる機能	9
将来のリリースではサポートされなくなる機能について	10
テスト済みおよびサポートされているソフトウェア	11
システム要件と事前要件	13

Silk Central 15.0 リリースノート

バージョン 15.0

2014年1月

以下の注記には、ヘルプには記載されていない重要な情報が含まれている場合があります。注記にはすべて目を通してください。

インストール、デプロイメント、ライセンス管理に関する情報については、『[Silk Central インストールヘルプ](#)』を参照してください。

さらに支援が必要な場合は、[カスタマーケア](#) にアクセスしてください。

Silk Central 15.0 の新機能

Silk Central 15.0 では、大幅な機能拡張と変更が導入されました。

レポート配信登録

レポートユニットの**配信登録**タブで、レポートの配信登録を作成することができます。レポートを受信する時間と場所と方法をカスタマイズでき、さらにレポートのパラメータも変更できます。レポートは選択したスケジュールごとにアプリケーションサーバーのバックグラウンドで作成されます。配信登録者に電子メールでレポートが送信されるか、または、ダッシュボードパネルに表示させることができます。また、外部サイトから URL を介してアクセスすることもできます。

以下のオプションを利用できます。




- 電子メールでレポートを送信したい場合には、**電子メールで送信** をクリックし、**形式** として PDF (BIRT レポートまたはデータ表) または XLSX (データ表) のどちらかを選択します。そして、レポートの送信先となる **電子メールアドレス** を入力します。カンマ、セミコロン、または空白で複数の電子メールアドレスを指定して、複数の宛先にレポートを送信することができます。
- レポートをダッシュボードで、または外部サイトから利用できるようにしたい場合は、**ダッシュボードと外部アクセス** をクリックします。このオプションを選択すると、**レポート配信登録** ダッシュボードパネルでレポートが利用可能になり、さらに提供したリンクを Web サイトや電子メールなどに埋め込むことができます。このリンクは変更されない永続的なもので、アクセスする際にログインやライセンスは必要ありません。

レポート配信登録パネル

レポートユニットで利用可能な任意のレポートを使用して、ダッシュボードの**レポート配信登録**パネルに既存のレポートを表示することができます。まず、レポートを作成して設定してから、ダッシュボードにパネルを追加します。

ステータスの理由

ステータスの理由が手動テスト実行のステータスを限定する方法について説明します。特定のテスト実行がステータス **合格**、**失敗**、あるいは **未実行** を持つ理由を指定することができます。各ステータスごとに、5 個までの理由を定義することができます。デフォルトでは、理由 **未サポート** が、ステータス **合格** に追加され、理由 **未解決** が、ステータス **失敗** に追加されます。各ステータスに対してさらに理由を追加することにより、テスト実行のステータスを限定するのに役立ちます。たとえば、ステータスに対して次の理由を定義することができます。

-  **合格** : 未サポート
-  **失敗** : 未解決、システムクラッシュ、バグ、ヘルプが使用できません、クライアントシステムが応答しません
-  **未実行** : 保留中 - 内部、保留中 - 顧客、テスト環境が使用できません

自動テスト結果を分析する

実行計画の実行のテスト結果を表示し、拡張された根本原因分析を行ったり、複数の実行の結果をテストのステータスの変化を可視化して比較します。

テスト結果 ビューと実行の比較 ビューは、結果の概要を読みやすくするために、完全なドリルダウン機能を提供します。結果ファイル、スクリーンショットのサムネイル、メッセージ、スタックトレースなどのすべての情報が含まれます。これによって、とくに、複数の実行結果を横に並べて比較することもできるため、失敗したテスト実行の根本原因をすばやく分析できます。

たとえば、次の興味深いタスクを実行できます。

- 構成スイート内または構成を表す実行計画内のすべての構成の実行を分析する
- 同じ実行計画の実行を比較する (ステータスが変更されたテストを見つけ出すためなど)
- 実行計画のすべての失敗したテストを一度に表示する

Microsoft Excel からの要件インポートと更新

Microsoft Word からの要件のインポートと更新に加えて、Silk Central は、Microsoft Excel からの要件のインポートと更新もサポートするようになりました。

Silk Central は Excel ファイルとマッピング ファイルに保存されている情報を使用して、保存するデータを判断し、特定の列名にマップされている情報のみを取得します。Silk Central は、マッピング ファイルを使用して、Excel ファイル内の要件を Silk Central の要件にマップします。

RequirementPropertiesXlsxDefaultMapping.xml という名前のデフォルトのマッピング ファイルが、インポート用にあらかじめ選択されます。独自にカスタマイズしたマッピング ファイルを選択して、要件をマップできます。



注: 添付情報 (イメージやグラフ) のインポートはサポートされていません。

テストに複数の要件を割り当てる

ボタンを 1 回クリックするだけで、複数の要件をテストに割り当てることができるようになりました。

割り当て済み要件 ページで新しいボタンが利用可能になり、選択したフィルタに一致するすべての要件を一度にテストに割り当てることができるようになりました。すべてのフィルタ済み要件の割り当ては、フィルタが選択されており、かつ **要件の管理** または **テストと実行の管理** アクセス権の何れかを持つ場合にのみ有効です。

クライアントごとのライセンス制約

利用可能な**テスト管理**、**手動テスト**、および **問題追跡**用ライセンスの全体のプールから、クライアントごとに使用可能なライセンスの最大数を制限するために指定できます。

クライアントごとに指定した制限に応じて、以下のルールが適用されます。

- 値なし: ライセンス制限は適用されません。クライアントは利用可能なライセンスのすべてを使用できます。
- 0 (ゼロ): クライアントはライセンスを獲得できません。選択したライセンスに関連するすべての機能が使用できなくなることを意味します。
- 任意の数: クライアントが獲得できるライセンス数。利用可能なライセンスの総量よりも大きい数値を指定すると、クライアントは利用可能なライセンスのすべてを使用できます。

ユーザビリティ機能の強化

このセクションでは、Silk Central 全体で行われたユーザビリティ機能の強化の一覧を提供します。

実行環境の一元管理

ロケーション、実行サーバー、クラウド プロファイルの管理が、メニュー **管理** > **実行環境** からアクセスできる一箇所にまとめられたため、Silk Central における実行環境の管理が以前より簡単になりました。

物理実行サーバーに自動的にキーワードを割り当てる

Silk Test がインストールされている物理実行サーバーに対して、Silk Central はインストール済みのブラウザと接続されたモバイル デバイスに従ってキーワードを自動的に割り当てます。

関連する実行計画のすべての手動テストをオフライン実行用にダウンロードする

選択したテストをオフライン実行用にダウンロードする以外に、テストを選択し、それに関連する実行計画のすべての手動テストをダウンロードできるようになりました。

オフライン実行用にダウンロードする手動テストの書式を指定する

手動テストをオフライン実行用にダウンロードする前に、Excel でテストをまとめる方法を指定できるようになりました。

- ステップのリストを持つテストごとに別のワークシートを作成する
- ステップを持たないテストのリストを持つ単一のワークシートを作成する

完了テスト実行ステータスの処理

手動テスト実行を完了するとき、未実行のテストに対して実行するアクションを選択できるようになりました。

ホットフィックスと更新通知

はじめに パネルに、新しいホットフィックスや製品の更新があることをわかりやすくする通知が提供されます。更新やホットフィックスがある場合は、このパネルのタイトルの下に直接一覧表示されます。リンクをクリックして移動し、更新をダウンロードします。

統合の強化

このセクションは、Silk Central で行った統合の強化の一覧を提供します。

Atlassian JIRA Agile 統合の改善

Silk Central の Atlassian JIRA Agile との統合に対していくつかの改善が行われました。

次の変更は、Silk Central のこのバージョンで利用可能です。

- "Sub-Task" 課題タイプが同期されるようになりました
- JIRA Agile の Wiki マークアップ書式が、Silk Central の要件の説明で保持されるようになりました
- JIRA Agile の Backlog にあるユーザー ストーリーは、Backlog に設定された Sprint プロパティ値を持つことで Silk Central に反映されます。フィルタを作成することによって、それらを簡単に検索することができます。

- JIRA Agile のユーザー ストーリーのデフォルトの Priority 値は、Silk Central の 優先度 プロパティに マップされます。JIRA Agile のデフォルトの Priority 値を使用していない場合は、このマッピングをカスタマイズできます。

Atlassian JIRA 6

Silk Central では、Atlassian JIRA 6 をサポートするようになりました。

Web サービスの更新

このセクションは、Silk Central Web サービスに行われた変更の一覧を提供します。

reportData インターフェイス

reportData インタフェースに projectID パラメータが追加されました。Silk Central 13.0 より前のバージョンからアップグレードしている場合はご注意ください。

グローバル レポートが導入されたことにより、Silk Central Web サービスの呼び出しに、プロジェクト ID を渡す必要があります。Silk Central Web サービスにアクセスする既存のカスタム BIRT レポート テンプレートは修正が必要です。Web サービス URL を設定できるようになりました：

1. **レポート > レポート テンプレート** ページで、BIRT テンプレートをダウンロードしてテキスト エディタまたは BIRT RCP Designer で開きます。
2. グローバル スクリプトの次の行を探します：
`reportDataProvider.prepareData(url,handlerId,sessionId,reportId);`
3. 次の行で置換します：
`reportDataProvider.prepareData(params["currWebserviceURL"],handlerId,sessionId,reportId, params["currProjectID"]);`

使用技術の更新

Internet Explorer 11 のサポート

Silk Central15.0 は、Internet Explorer 11 をサポートするようになりました。

Atlassian JIRA 6 のサポート

Silk Central15.0 は、Atlassian JIRA 6 をサポートするようになりました。

サポートされなくなる機能

このトピックでは、Silk Central 15.0 ではサポートされなくなる機能を示します。

VMware Lab Manager との統合

VMware Lab Manager は、Silk Central 15.0 でサポートされなくなりました。その代わりに、Silk Central は VMware vCloud をサポートするようになりました。

Silk Central 実行サーバーのサービスとしての開始

Windows サービスとして実行サーバーを実行するオプションは削除されました。これは、この機能がさまざまなテスト タイプのすべての機能をサポートするわけではなく、昔から存在するという理由だけで残されているためです。

Microsoft SQL Server 2005

Microsoft SQL Server 2005 は、Silk Central 15.0 でサポートされなくなりました。

将来のリリースではサポートされなくなる機能について

このセクションでは、将来のリリースではサポートされなくなる予定の Silk Central の機能を示します。

Atlassian JIRA 4.4

将来のリリースでは、および Atlassian JIRA 4.4 はサポートされなくなる予定です。

Microsoft Visual SourceSafe (MSVSS)

将来のリリースでは、Microsoft Visual SourceSafe (MSVSS) はサポートされなくなる予定です。

Concurrent Versions System (CVS)

将来のリリースでは、Concurrent Versions System (CVS) はサポートされなくなる予定です。

データ駆動型オプション

将来のリリースでは、異なる入力データを用いたテストを実行する機能が簡略化されます。異なるデータの行は **テスト** 領域で表示されなくなり、結果領域のみで表示されるようになります。失敗した単一データ行を再実行することは可能です。

リンクされたテスト コンテナ

将来のリリースでは、リンクされたテスト コンテナは削除されます。Silk Central におけるこの機能の主な目的は、Silk Test Classic 計画ファイルのインポートをサポートすることでしたが、テスト パッケージ機能を使用することによって、実行するたびに Silk Central のテスト構造が更新されるためメンテナンス作業を軽減することができ、より良く Silk Test Classic 計画ファイル テスト タイプをサポートすることができます。

混在した実行計画

将来のリリースでは、自動実行計画で 1 つの実行計画に自動テストと手動テストを混在させることはサポートされなくなります。手動テストと自動テストのより洗練された組み合わせは、依存関係によって実現可能です。

古い要件 Web サービス

将来のリリースでは、古い要件 Web サービスはサポートされなくなる予定です。要件 Web サービスは同等の機能を持っており、今後も定期的にメンテナンスされます。

テスト済みおよびサポートされているソフトウェア

このセクションでは、Silk Central 15.0 がテストされたソフトウェア、および Silk Central がサポートするソフトウェアの一覧を示します。

アプリケーション、フロントエンド、実行、およびチャートの各サーバーは、特に記載がない場合、32 ビットオペレーティングシステムの構成で検証されています。64 ビットの構成もサポートされますが、サービスが 32 ビット JVM に基づいているため、パフォーマンスは向上しません。

サポートするオペレーティング システム

- Windows Server 2003 R2 サービス パック 2
- Windows Server 2008 R2 サービス パック 1 64 ビット
- Windows Server 2012
- Windows Vista Ultimate 32 ビット (実行サーバー)
- Windows 7 32 ビット/64 ビット サービス パック 1 (実行サーバー)
- Windows 8 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)

サポートする Linux オペレーティング システム

Silk Central は、Linux オペレーティング システムを実行サーバーに限りサポートします。

- Debian
- Redhat Enterprise Linux
- Suse Linux
- Ubuntu

サポートする Web ブラウザ

- Google Chrome
- Internet Explorer 9、10、11 (互換性モード以外)
- Mozilla Firefox

サポートする Web サーバー

- IIS 6 32 ビット/64 ビット
- IIS 7 32 ビット/64 ビット
- IIS 8 32 ビット/64 ビット
- Micro Focus スタンドアロン Web サーバー (Tomcat)

サポートするデータベース管理システム

- Microsoft SQL Server 2008 R2 サービス パック 2
- Microsoft SQL Server 2012 サービス パック 1
- Oracle 10g (バージョン 10.2.0.5)
- Oracle 11g (バージョン 11.2.0.4)

サポートする統合された Micro Focus ソフトウェア

- CaliberRM 10.1、10.2

- Caliber 11.0 (ホットフィックス 1 が必要)、11.1、11.2
- Silk Performer 10.0、15.0
- Silk Test 14.0、15.0
- StarTeam 13.1、14.1
- SilkTestPartner 6.3

サポートする統合されたサードパーティ ソフトウェア

- Bugzilla 4.0
- Compuware Quality Manager (Changepoint 2010 SP1、Changepoint 2009、Changepoint 2009 SP2)
- IBM Rational ClearQuest 2003.06.15.734.000
- IBM Rational DOORS バージョン 9.3、9.4
- IBM Rational Requisite Pro 7.0.0.0
- Atlassian JIRA 4.4、5、6
- Atlassian JIRA Agile 6.1.4.2 (JIRA 5.2.8 ベース)
- JUnit 4.11 以降
- Microsoft Office Excel (.xlsx) (テストと要件のインポート用)
- Microsoft Office Word (.doc、.docx) (要件のインポート用)
- Rally
- SAP Solution Manager 7.1
- Subversion 1.6.x
- Team Foundation Server 2010、2012
- VersionOne Enterprise Edition
- VMware vCloud Director 5.1

サポートする Java

- Java Development Kit (JDK) 7 以降
- Java Runtime Environment (JRE) 6 以降

システム要件と事前要件

サーバー システムの要件

アプリケーション、フロントエンド、実行、およびチャートの各サーバーは、特に記載がない場合、32 ビットオペレーティングシステムの構成で検証されています。64 ビットの構成もサポートされますが、サービスが 32 ビット JVM に基づいているため、パフォーマンスは向上しません。

システム対象	要件
CPU	Intel Core i5、または同等の CPU
メモリ	最低 4 GB
空きディスク容量	最低 30 GB、データベース サーバーを除く
ネットワーク	100 Mbit
フロントエンド、アプリケーション、およびチャートの各サーバーのオペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none">• Windows Server 2003 R2 サービスパック 2• Windows Server 2008 R2 サービスパック 1 64 ビット• Windows Server 2012
実行サーバーのオペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none">• Windows Server 2003 R2 サービスパック 2• Windows Server 2008 R2 サービスパック 1 64 ビット• Windows Server 2012• Windows XP サービスパック 3• Windows XP 64 ビット サービスパック 1• Windows Vista Ultimate 32 ビット• Windows 7 32 ビット/64 ビット サービスパック 1• Windows 8 32 ビット/64 ビット• Debian• Redhat Enterprise Linux• Suse Linux• Ubuntu
Web サーバー	<ul style="list-style-type: none">• Tomcat• IIS• Apache、ロード バランサとして使用
データベース管理システム	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft SQL Server 2008 R2 サービスパック 2• Microsoft SQL Server 2012 サービスパック 1• Oracle 10g (バージョン 10.2.0.5)• Oracle 11g (バージョン 11.2.0.4)
電源供給	停電時のリスクを減少するため、すべての環境に対する無停電電源装置 (UPS)



注: Silk Central をエンタープライズ システムとしてインストールするには、Silk Central の各サーバーを個別のマシン上にインストールします。これらサーバーには、アプリケーションサーバー、フロントエンドサーバー、チャートサーバー、実行サーバー、および、データベースシステムなどが含まれます。この方法については、『Silk Central 15.0 インストールヘルプ』の「カスタム インストー

ル」に概要が記載されています。これらのコンポーネントは、好きな組み合わせで、複数のマシン上にインストールすることが可能です。

Silk Central の最適な構成の詳細については、テクニカル サポートまたはテクニカル アカウント チームにお問い合わせください。

実行サーバーの要件

実行サーバーに対する実際の要件と前提条件は、テスト対象のアプリケーション (AUT) やテストのタイプに依存します。

負荷テストについては、Silk Performer の環境要件を参照してください。最小限の構成での負荷テストは、不正確な結果につながります。

機能テストについては、Silk Test の環境要件を参照してください。Web ブラウザのリプレイなど、集中的なテストについては、最小 1024 MB のメイン メモリが推奨されます。

仮想化

Silk Central は仮想インフラストラクチャ環境（たとえば、VMware ESX Server）での実行がテストされています。最適なパフォーマンスのためには、物理ハードウェアを使用することをお勧めします。

クライアント側のシステム要件

システム対象	要件
プロセッサ	Intel Core i3、または同等の CPU
メモリ	1 GB
空きディスク容量	1 GB
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">• Google Chrome• Internet Explorer 9、10、11 (互換性モード以外)• Mozilla Firefox